

# 新年のご挨拶

公益社団法人 大阪府栄養士会 会長 藤原 政嘉



明けましておめでと  
ございます。

会員の皆様におかれ  
ましてはコロナ禍の中、  
恙無く健やかな新年を  
迎えられましたことお  
慶び申し上げます。

平素は栄養士会に格  
別のご支援、ご理解を  
いただき、新年に当り  
あらためてお礼申し  
上げます。

昨年は一昨年に続き、  
新型コロナウイルスへ  
の対応に沿って3蜜を避け、ITを活用した遠隔  
による各種研修会を計画・実施し、例年とは違っ  
た1年を費やしたように思われます。

そのようなコロナ禍の中、東京オリンピック・  
パラリンピックが開催され、暑い夏が各種目にお  
けるアスリートの活躍に一喜一憂し、熱い夏とな  
りました。その後、12月7・8日には栄養問題を  
国際的に議論される栄養サミットが政府主催で  
実施され、世界的に問題とされる「栄養の二重負  
荷」に対し日本栄養士会が国際的にどのように活  
躍し、どのように国際協力できるかをアピールす  
る絶好の機会となりました。

コロナ禍も落ち着いた兆しが見えてきました  
が、多くの人は会食、外食の機会が少なくなり中  
食やデリバリーによる食事が多くなり、その内容  
も栄養バランスから見ると決して優れていると  
は思われません。しかし、この状況の中、良質な  
弁当が多くなってきたことも見逃せません。我々  
管理栄養士・栄養士として、この間の食生活が今  
後の健康や食育推進事業、食文化の継承にどの  
様に影響が出てくるか検証していくことが我々  
の仕事と思われれます。

また、SDGsに我々管理栄養士・栄養士は食育  
推進事業や給食マネジメント分野において食  
品ロス問題を中心に取り組んでいくことが大き  
な課題であり、実行に移す担い手として、身近な  
ところから活動していく必要があると思います。

本会は大阪府民の皆様様の健康の維持・増進に  
栄養・食生活の面から援助する目的でホームペ  
ージの定期的な改編や府民フォーラムの開催、栄養  
ケア・ステーションの運営など保健衛生の向上に  
寄与できる事業を展開しております。

また、会員の皆様には「生涯教育制度」を運営  
し、専門職業人としての管理栄養士・栄養士が他  
の医療従事者や国民の信頼を一層高めるため、栄  
養学を基盤とした栄養・食生活マネジメントに  
関する知識とスキルの向上を図る研修を毎月実  
施し、多くの会員に参加していただいております。

ご周知のとおり、本会は会員の会費によって運  
営されております。しかし、若い世代の新入会の  
減少、団塊の世代の退会などで、ここ数年会員数  
の微減が見られます。組織の強弱は会員数が左右  
すると言っても過言ではなく役員一同会員増対

策に奔走しておりますが、近年は同業の仲間意識  
や先輩・後輩の意識の希薄さ、またITの発達に  
より情報の取得は十分に可能になったことなど  
から会員としての価値観が薄らぎ、栄養士会会員  
という意識に変化をもたらせたように感じます。  
入会を勧めた時、時に入会することによるメリッ  
トを求める人がおられますが、私は会員になられ  
ることが最大のメリットとっております。会員  
になり活動（研修会参加、情報の交換、雑誌の購  
読、仲間づくり等）すれば、そこにメリットが生  
まれてきます。

何れにしても会員あつての栄養士会です。  
栄養士会の役割と管理栄養士・栄養士という専  
門職の要の組織であることを広報・理解してもら  
う必要があると感じております。会員の皆様にお  
かれまして、一層のご支援をいただき、一人でも  
多くの仲間づくりをし、3000名を達成したい  
と思っております。

一方、医療報酬、介護報酬の改定により栄養  
ケア・ステーションが重要な役割を持つ事となり、  
本会においても医療機関や介護事業所から栄養  
・食事マネジメントに関する業務委託が増加  
しており、本会栄養ケア・ステーション登録管理  
栄養士の皆様に活動していただいております。そ  
のため、社会から信用され、尊重される働きをす  
るために登録管理栄養士の資質の担保と登録管  
理栄養士の増員が急務となっています。今後、要  
求が高まるとされる「在宅栄養ケア」や「地域  
ケア会議」への参画も視野に入れ、役割を果たし  
て行く必要があると考えております。

今年の干支は「とら年」で、「壬寅（みずのえ  
とら）」とか36年に一度の「五黄の寅」といわれ、  
「寅」は動くという意味や、厳しい冬に耐え、春  
が来て草木が芽吹き始め、新しい成長の礎となる  
年とされています。また、寅は『決断力と才知』  
の象徴とされています。

私たち栄養士会も栄養ケア・ステーション運営  
をはじめあらゆる場面での栄養・食生活改善事業  
に今まで蓄え、芽吹き始めた管理栄養士・栄養士  
の力（決断力と才知）を社会に向かって積極的に  
活用していきたいものです。

会員の皆様も栄養士会が開催する生涯教育研  
修会など行事に積極的に参加していただき仲間  
づくりをし、情報・知識の獲得とスキルアップを  
図ると共に本会の運営に厳しい評価をいただ  
ければと思います。

なお、栄養士会は会費を有効活用し、種々の研  
修会の開催、ホームページや会報での情報の伝達  
など会員へのサービスに努めておりますが、ホ  
ムページの閲覧、会報の購読をしていただき栄  
養士会事業へのご意見をいただければ幸いです。

理事一同は目配りとブレナイ会の運営に努力  
いたします。

最後になりましたが、会員の皆様様の益々のご健  
勝とご活躍を祈念しまして新年の挨拶とさせて  
いただきます。